



平成 29 年岩手県臨床衛生検査技師会 定時総会が開催されました

平成 29 年度一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会が、5 月 28 日リリオにて開催されました。総会議長には東八幡平病院の吉田英子氏が選出され、資格審査委員長から会員数 544 名、出席者 28 名、委任状 426 名と会員数の過半数に達したことより総会成立が宣言されました。平成 28 年度事業・決算報告、平成 29 年度事業計画案、予算案はすべて承認されました。

総会終了後、特別講演として安保淳一会長を講師に迎え、「震災から 3 期 6 年の会務を終えて」と題して講演していただきました。講演の中で、3 期 6 年に渡る会務の中東日本大震災があり、震災支援事業としての被災会員への支援・DVT 検診・会員連絡網の整備の重要性の報告がありました。そのほかにも北日本医学検査学会開催の準備の苦勞、学術誌の発行、昨年の台風 10 号被害の援助等、岩臨技で行った様々な活動を報告して頂きました。

今年度は役員や理事、部門長の交代の年度となり新たな体制での事業となります。新たな視点での事業を展開して参りたいと考えております。今後とも皆様の理解とご協力、ご支援の程よろしくお願いいたします。



平

成 29-

30 年度 新役員紹介

役職	氏名	担当	所属
会長	行森 良一	会務全般	岩手医大附属病院
副会長	菊地 英岳	会長代行、総務部長	岩手県立胆沢病院
副会長	畠山 秀樹	学術部長、生涯教育、HP 担当	予防医学協会
常務理事	川村 将史	公益事業部長、盛岡地区会長	いわてリハビリテーションセンター
常務理事	高橋 一博	会計部長	岩手県立中央病院
理事	宮本 祥一	生涯教育研修部長、HP 担当	盛岡赤十字病院
理事	千葉 拓也	学術部、精度管理部長	岩手医大附属病院
理事	岡田 進	総務部、北部地区会長	岩手県立久慈病院
理事	阿部 久子	学術部、公益事業部	岩手県立一戸病院
理事	千田 文枝	総務部、中部地区会長	岩手県立胆沢病院
理事	相原 淳路	書記・会報部、検査と健康展奥州市国民健康保険前沢診療所	
理事	細川 裕史	総務部、南部地区会長	岩手県立千厩病院
理事	小野寺 絵美	書記・会報部	西城病院
理事	石川 学	総務部、三陸地区会長	岩手県立釜石病院
理事	佐藤 了一	学術部、精度管理部	岩手県立宮古病院
事務局長	畠山 裕司	事務全般	岩手医大附属病院
会計	姉帯 麻里絵		岩手医大附属病院
会計	小野寺 奈緒		岩手医大附属病院
監事	井上 幸男		盛岡赤十字病院

(い わ て)

監事 多田 勇紀

税理士法人つくし会計

会員の皆様のご意見・要望を検討しながら頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



*******会長就任挨拶*******

会長 行森 良一 (岩手医科大学附属病院)

先の総会後の理事会で (一社) 岩手県臨床衛生検査技師会 会長に就任いたしました

行森 良一 (ゆきもり りょういち) と申します。所属は岩手医科大学附属病院

中央臨床検査部です。私は、会計・事務局・副会長と 14 年間、技師会の業務に係ってきました。今までの経験を最大限に生かし、岩手県臨床衛生検査技師

会のために誠心誠意、頑張りたいと思っておりますので理事、役員、会員の皆様、何卒よろしくお願いいたします。



今年度の事業計画としては、総務部としては、会員名簿の作成年度になっております。

只今作成に向けて、動き始めたところでございます、ご協力の程よろしくお願いいたします。

学術部におきましては、日臨技北日本支部病理検査研修会が 6 月 3 日に開催され、多数の参加者により成功裏に終了致しました。各分野の研修会活動も例年どおり各部門長を中心

として、日臨技生涯教育補助事業による研修会を中心に行って参ります。その他、新人、若手技師を対象とした、研修会や精度管理調査も継続して行います。学術誌も継続して発行していきたいと思っておりますので、会員の皆様のご論文投稿よろしくお願いいたします。

第 22 回の岩手医学検査学会につきましては、11 月 19 日 (日) 三陸地区担当で開催いたします。会場は「宮古市民会館」を予定しております。多数の演題申込みをお願い致します。

日臨技では、平成 28 年の理事会で、生涯教育履修 (自己学習・自己評価プラン) のツールとして、アイアンシステムズの eラーニングシステム“バリューレゾリューション”の導入が承認されました。これにより日常の業務に追われている会員や、地理的条件により講習会や研修会への参加機会に限られる会員も、インターネットに接続可能な環境があれば自宅でも職場でも、個人レベルに見合った学修を行うことができるようになります。2017 年夏から開始予定です。詳細については、日臨技HPをご覧ください。

(い わ て)

公益事業部では、今年度も引き続き、がん予防啓発事業として、9月3日(日)「あっぴりレーマソン2017」に参加予定であります。例年たくさんの方に、参加していただいております。「検査と健康展」につきましては、今年は中部地区担当で、11月12日(日)奥州市水沢区「コープアテルイ2F イベントホール」で開催予定であります。

最後に、これまで諸先輩方が築かれた功績や歴史を汚すことなく、更に発展する会と成りますよう役員一同、精一杯、務める所存であります。役員の皆様は、それぞれの職場で、日常業務を行いながらの会務となります。全ては役員の献身的な自己犠牲の上で成り立っていると思います。

どうか皆様、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

退任される安保会長さんより、退任の挨拶を頂きましたので、掲載させていただきます。

*****震災から3期6年の会務を終えて*****

安保 淳一

平成23年度から平成28年度までの3期6年間、会長職を務めさせていただきました。この間、会員の皆様、賛助会員の皆様、そして理事の皆様にはご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。改めまして御礼申し上げます。

私が会長職を引き受けました平成23年には東日本大震災があり未曾有の被害となり日本中が悲しみにくれた年でありました。当時、役員推薦委員の方から会長職をお願いしたいと推薦を受けた時には、私より経験の豊富な諸先輩方がいるのでとお断り致しました。震災からの会務を考えると誰も引き付けたくない、でも誰かが引き付けるしかない、との思いがありました。全国から被災地を支援しようとボランティアの方々が集まり、被災地で活動する姿を目にすると「自分に何ができるのだろう」と誰もが思ったことでしょう。また、被災地を想い「自分ができるとをしたい」と考えたことでしょう。私にとって「自分に何ができるのだろう」との問いかけの答えが「会長をやること」だと思いました。意を決して引き付けることに致しました。

6年間のなかで震災支援や新法人の登記、第3回北日本支部医学検査学会の開催など大きな事業がありました。苦労もありましたが皆様の協力により何とか乗り越えることができました。

6年間の主な事業を簡単に振り返ってみます。

平成23年度の主な事業

○東日本大震災支援

- ・被災会員への支援金支給・被災施設への支援(支援図書、パソコン支給)
- ・東日本大震災フォローアップ検診支援(東北臨技復興支援事業に申請、予算107万)

平成24年度の主な事業

- 新法人登記申請・一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会として登記申請

(い わ て)

平成 25 年度の主な事業

○岩手医学検査の発行（創刊）・3 遍の論文掲載

平成 26 年度の主な事業

○第 3 回北日本支部医学検査学会の開催・学会テーマ「臨床検査を探求する」

平成 27 年度の主な事業

○被災地での「検査と健康展」・11 月 1 日 大船渡市民文化会館リアスホールにて

平成 28 年度の主な事業

○宮島よしふみ決起大会・6 月 11 日 岩手県公会堂にて

○台風 10 号 被災会員への支援金支給

この間、東北臨床検査技師会から北日本支部（北海道と東北、新潟）となり、組織も大きな変化がありました。初代の支部長には伊藤茂雄（前岩臨技会長）さんが就任しましたので被災地支援や学会開催では心強く会務を進めることができました。6 年間の会務を終えることができ少しは被災地や技師会に貢献できたかなと思っております。これまで私を支えて下さいました専門学校の同級生、職場の上司の先生、職場の皆様には大変お世話になりました。衷心より御礼申し上げます。

最後になりますが、今後とも岩臨技に対しましてご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

安保前会長さん、3 期 6 年の長期に渡る会務

本当にお疲れ様でした。



平成 28 年度 岩臨技第 5 回理事会議事録

日 時： 平成 29 年 5 月 27 日（土）10：00～12：00

場 所： リリオ 5 階 特別会議室

出席者： 安保淳一 行森良一 菊池英岳 井上幸男 畠山秀樹
二ッ森秀一 石川学 岡田進 佐々木道子 岡本恵智子
向井千純 畠山裕司

議 題：

I. 報告事項

1. 常務理事会について（安保）

平成 29 年 4 月 11 日岩手医科大学技師研修室にて開催

- ・平成 29 年度事業計画、予算案について話し合いを行った
総会議案書にて本日確認を行う

(い わ て)

収支計算書内の赤字約 30 万円は、昨年の台風 10 号被害のお見舞金となっている

2. 平成 28 年度末の会計、事業監査について (安保)

- ・平成 29 年 4 月 14 日岩手医科大学技師研修室にて実施
- ・会計 つくし会計 多田勇紀氏、事業 盛岡赤十字病院 藤原雅之氏
- ・総会議案書 27 ページに報告書掲載
- ・一般社団法人は、利益を出す (黒字になる) ことはあまりよくない
財産を減らしていく

3. その他 特に無し

II. 平成 29 年度 通常総会について

1. 議案書の確認

平成 28 年度事業報告 (議案書参照)

- ・一般経過報告 (安保)
- ・事務局行動日誌 (畠山裕司)
- ・総務部 (菊池) 名簿の活用を進めた
- ・学術部 (行森)

総合管理部門研修会では、分析機器ごとの値の違いがあること、機器のシェアを考慮しての分析が必要であること等のお話があった

- ・公益部 川村理事欠席のため議案書参照
- ・生涯教育研修部 (畠山秀樹) 日臨技研修会推進事業は 17 行事認定
総事業数は 44 行事であった
- ・書記・会報部 (向井) 計画通り会報の発行、議事録作成を行った
- ・地区技師会事業報告

北部 (岡田)

学会無事終了であったが、水害や会員数が少ないこともあり運営が大変であった

開催場所、担当を含めて学会のあり方等を考えていく必要がある

盛岡：川村理事欠席のため議案書参照

中部 (菊池)：理事会・研修会等十分に開催することができなかった

南部 (岡村)：心血管エコーについての研修会を、初めて外部施設を借りて開催

基本的な内容であり地区内の実務に携わっている方の参加少なかったが、県全域や
県外からの参加者もあった

三陸 (二ッ森)：地区が広く、研修会に集まるのが大変だ。検査と健康展無事終了

質問 (畠山秀樹)：地区研修会の平日開催がみられるが、参加者の集まりはいかがが
土日の開催を検討してはいかがか

→(三陸)土曜日の開催や、同内容の研修会の開催を 2 ヶ所で開催等したりしている

県立病院の会員の参加、運営が多くむしろ平日のほうが開催しやすい

参加者数は土日開催にしても変わらないのではないかと

- ・収支決算 (井上)

研修会活動費は、日臨技より補助があるので、実際には赤字にはなっていない (20,000
円 + 参加者 × 500 円)

(い わ て)

時期繰り越しは、約 370 万円ある。学会開催費等の仮払い等に使用している

・その他

新採用者や技師会未入会者の勧誘を進めていく

会費の負担もあるので、2年以内の入会を勧めていく

平成 28 年度は新入会数 26 名

学生のと時から技師会に入会している職種もある

施設によっても入会の有無に差がある

技師法の改正の中で、各施設で行っている精度管理の徹底、制度化が挙げられているので、技師会の精度管理への参加も大切になってくる

遺伝子分野の精度管理の徹底も急務となっている

・平成 29 年度事業計画について（案）（議案書参照）

・事業計画（安保）

学会 11 月 19 日宮古市民文化会館中ホール

検査と健康展 11 月 12 日奥州市水沢区コープアテルイ 2 階イベントホール

e ラーニングシステムの活用

・総務部（菊池） 会員間の親睦を深めていけるような活動を行っていきたい

・学術部（行森） 今年度より自家調整ではなく、市販の試料を購入する予定のため、予算が 11 万円程度増額。学術部長の交代がある

・公益事業部（別紙参照）

検査と健康展（菊池） 会場は前日の午後から会場借用予約している
肺機能・血糖・大腸がん検診推進等予定。
奥州市のゆるキャラはまだ未定

・学会（石川）

三陸地区総会后、第 1 回実行委員会開催（会議録参照）

実行委員長 石川学氏（県立釜石病院）

副委員長 佐藤了一氏（県立宮古病院）

学会事務局 県立宮古病院

学会長 岩臨技会長

学会内容については各施設での意見集約を 5 月中に行い、第 2 回実行委員会にて決定する

・生涯教育部（畠山秀樹） 今年度もHPにて行事のお知らせをする

・地区技師会事業

北部（岡田） 新採用の方々に参加してもらえる行事を検討

盛岡 川村理事欠席のため議案書参照

中部（菊池） 新会長 千田文枝氏（県立胆沢病院）、4 検査と健康展の開催

南部（岡本） 新会長 細川裕史氏（県立千厩病院）

三陸（石川） 新会長 石川学氏（県立釜石病院）、学会の開催、

意見等（岡本）

(い わ て)

南部地区では、3月の異動が決まった時から準備を始め、4月の総会の時点で新年度の名簿を作成している。新年度開始に合わせ名簿の作成をしたらよいのではないかと→早めに確認等を進めて、改正発行をしたい年内を目標にする

地区活動費の10万円の各地区の配分はどのようになっているのか

→総会費や学会実行委員会費は前渡しではないので、立て替えをお願いしている できれば地区活動費から払いたいの、総会終了後の配布を早めをお願いしたい

各地区での口座開設名義等の観点から難しいので、事務局では口座を開設し、各地区分の通帳を作って地区活動費等の受け渡しや、残金の変換をスムーズに行えるように検討している

・会計（井上）

平成29年度予算案

・第3号議案について

平成29・30年度理事・監事の選任については掲示、読み上げをして承認を得る

2. 平成29年度通常総会進行について（別紙参照）

・議長は北部地区吉田英子氏へお願いする

・司会・受付・広報担当、進行方法、総会役員選出予定者の確認

平成29年度(一社)岩手県臨床衛生検査技師会定時総会 議事

日時 平成29年5月28日(土曜日)午後13:30～

場所 リリオ3階イベントホール

盛岡市大通一丁目11番8号電話 019-623-7131

平成29年度定時総会次第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 総会役員選出資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
5. 総会成立の確認
6. 議事
 - 承認第1号平成28年度事業について
 - 承認第2号平成28年度決算について
 - 承認第3号平成28年度監査報告について
 - 第1号議案平成29年度事業計画(案)について
 - 第2号議案平成29年度予算(案)について
 - 第3号議案平成29・30年度理事・監事の選任(案)について
7. 総会役員解任

8. 議長退任
9. その他
10. 閉会の辞

【議事録】

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出 議長 北部地区 吉田英子氏（東八幡平病院）
事務局より提案され、全会一致で承認

4. 総会役員選出

資格審査・議事運営委員

委員長：岡本恵智子理事（地ノ森クリニック）

委員：佐藤了一氏（県立宮古病院） 小野寺絵美氏（西城病院）

書記：向井千純理事（県立中央病院）

議事録署名人：下川波歩氏（岩手医科大学付属病院） 宮本祥一氏（盛岡赤十字病院）

5. 総会成立の確認

資格審査委員長より報告

会員 544 名 出席者 28 名 委任状 426 名

以上、出席者と委任状合わせ 454 名で過半数（272 名）を満たしており、定款第 4 章 第 20 条 2 項の規定により総会は成立し、議長より通常総会の成立が宣言された

6. 議事

承認第 1 号平成 28 年度事業について

- 一般経過報告 安保淳一 会長
- 事務局行動日誌 畠山裕司 事務局長
- 事業報告
 - 1) 総務部 菊池英岳 副会長
 - 2) 学術部 行森良一 副会長
 - 3) 公益事業部 川村将史 理事
 - 4) 生涯教育研修部 畠山秀樹 理事
 - 5) 精度管理部・書記・会報部・地区理事会安保淳一 会長

承認第 2 号平成 28 年度決算について 井上幸男 理事

- ・収支計算書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
- ・収支計算書に対する注記
- ・財産目録（平成 29 年 3 月 31 日現在）
- ・貸借対照表（平成 29 年 3 月 31 日現在）
- ・正味財産増減計算書（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

承認第 3 号平成 28 年度監査報告について 藤原雅之 監事

平成 28 年度監査報告書

* 以上承認第 1 号、2 号、3 号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された
第 1 号議案平成 29 年度事業計画（案）について 安保淳一 会長

(い わ て)

- ・今年度は役員、理事、部門長の交代の年度となり、新たな体制となる
- ・岩手県医学検査学会が三陸地区担当で行われる
11月19日(日曜日) 宮古市市民文化会館 中ホール
- ・各部門の研修会は、日臨技生涯教育補助事業の申請を行って開催する
研修会の企画・運営は部門長に加えて、認定技師の方にも入っていただいで活発な活動をお願いしたい
- ・新人・若手技師を対象とした研修会や、精度管理事業も例年通り行う
精度管理調査の試料は、今年度から市販の試料を購入予定のため、予算において例年より多く計上している
- ・学術誌の発行を例年通り行う
現在編集中 6月に発行予定
- ・「検査説明・検査相談ができる臨床検査技師育成研修会」は患者接遇などを含めたミニ研修会を企画検討する
- ・検査と健康展は中部地区担当で開催
11月12日(日曜日) 奥州市水沢区 コープアテルイ
- ・あっぱりレーマラソンはがん予防の啓蒙活動、会員交流の場として欲しい
- ・なるべく今年中に会員名簿内容の調査を終えて発行したい。電子配信を含めた整備を進める
- ・新人、新入会員の勧誘を行い、組織率の向上に努める
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定研修会の受講を勧め、職域拡大につなげる
岩手県の受講率は、現在5割程度である
- ・今年度から新生涯教育制度支援として始まるeラーニングの周知
- ・認知症対応力向上研修会の開催

○事業計画(案)

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1) 総務部 | 菊池英岳 副会長 |
| 2) 学術部 | 行森良一 副会長 |
| 3) 公益事業部 | 川村将史 理事 |
| 4) 生涯教育部 | 畠山秀樹 理事 |
| 5) 精度管理部・書記・会報部・地区理事会 | 安保淳一 会長 |

第2号議案平成29年度収支予算(案)について 井上幸男 理事

平成29年4月1日～平成30年3月31日収支予算書

質疑 高橋一博氏(県立中央病院)

第2号議案の平成29年度収支予算(案)④補助金等収入 民間助成金収入について

前年度予算額よりも平成29年度予算額が50,000円多く策定されているが、研修会や検査と健康展への参加者が増えるの見込んでいるということか、日臨技生涯教育助成金や検査と健康展助成金以外の助成金があつて増える見込みなのか教えてほしい。

回答 安保淳一会長

日臨技生涯教育助成金は、研修会の申請をして認められると、20,000円+参加者×500円が支給される。最高で年間20行事申請可能であるが、前年度は17行事であったため、今年度は20行事申請を見込んで多く策定した。

(い わ て)

*以上第1号、第2号議案とも、それぞれ賛成多数で議決された
第3号議案平成29・30年度理事・監事の選任(案)について 畠山裕司 事務局長
平成29・30年度理事・監事氏名、所属の提示

*以上第3号議案は、賛成多数で議決された

7. 総会役員解任

議長がすべての議事が終了したことを告げ、総会役員を解任した

8. 議長解任

9. その他 質問や意見等無し

10. 閉会の辞

以上議事録に相違ない事を確認しました。

平成29年5月27日 総会議長 吉田英子
議事録署名人下川波歩、宮本祥一

平成29年度 第1回岩臨技理事会議 議事録

日 時： 平成29年5月27日(土) 16:00~16:20

場 所： リリオ3階イベントホール

出席者： 行森良一 菊池英岳 畠山秀樹 川村将史 宮本祥一 岡田進
石川学 阿部久子 千田文枝 相原淳路 細川裕史 小野寺絵美
佐藤良一 井上幸男 畠山裕司

委任状： 千葉拓也 相原淳路

1 開会

2 理事・監事自己紹介

3 議事

(1) 会長・副会長・常務理事の選出について

(2) 平成29年度岩臨技役員分担について

(3) その他

4 閉会

1 開会

司会(畠山裕司事務局長)

本日は理事15名のうち13名の方々に出席を頂いており、過半数を超えているので定款38条の規定により会議が成立していることが報告された。

本日は千葉理事と相原理事は欠席となっているが委任状を提出されているとも追加報告された。

2 理事・監事自己紹介

3 議事

(1) 会長・副会長・常務理事の選出

(い わ て)

畠山事務局長より、定款第 25 条第 2 項の規定により「理事のうち 1 名を会長、2 名を副会長、常務理事 2 名以内をおくこととされており、その選出は理事の互選による」旨の発言があった。互選の方法について提案を求めたが事務局に一任とされた。事務局案として、行森理事を会長に、菊池理事と畠山理事を副会長に、高橋理事と川村理事を常務理事に推薦された。なお、被選任者は席上その就任を承諾のうえ全会一致で承認された。

会長挨拶 行森会長は定款の規定に基づき、議長となり開催にあたり挨拶がなされた。

(2) 平成 29 年度岩臨技役員分担について

行森会長より平成 29 年度岩臨技役割分担の説明があった。

役職	氏名	担当	施設名
会長	行森良一	会務全般	岩手医大附属病院
副会長	菊地英岳	会長代行、総務部長	県立胆沢病院
副会長	畠山秀樹	学術部長、生涯教育、HP 担当	予防医学協会
常務理事	川村将史	公益事業部長、盛岡地区担当	いわてリハビリ
常務理事	高橋一博	会計部長	県立中央病院
理事	宮本祥一	生涯教育研修部長、HP 担当	盛岡赤十字病院
理事	千葉拓也	学術部、精度管理部長	岩手医大附属病院
理事	岡田進	総務部、北部地区担当	県立久慈病院
理事	阿部久子	学術部、公益事業部	県立一戸病院
理事	千田文枝	総務部、公益事業部	県立胆沢病院
理事	相原淳路	書記・会報編集担当、中部地区担当	前沢診療所
理事	細川裕史	総務部、南部地区担当	県立千厩病院
理事	小野寺絵美	書記・会報編集担当	西城病院
理事	石川学	総務部、三陸地区担当	県立釜石病院
理事	佐藤了一	学術部、精度管理部	県立宮古病院
事務局長	畠山裕司	事務全般	岩手医大附属病院
監事	井上幸男		盛岡赤十字病院
監事	多田勇紀		つくし会計
会計	姉帯麻里絵		岩手医大附属病院
会計	小野寺奈緒		岩手医大附属病院

上記について提案され、役割分担が承認された。

(3) その他

平成 29 年度公益事業ガン予防啓発活動「あっぴりレーマラソン大会 2017」参加者募集について、次回の発送が 6 月下旬となるために各施設への参加者募集をホームページと JAMTIS での一斉メールで行う旨報告され承認された。

4 閉会

以上をもって理事会の議案を終了し 16 時 20 分に閉会を宣言した。

今回の『つなぐ』は県立久慈病院の中村愛さんです

“つなぐ”

今回、県立中部病院の藤原教徳さんから『つなぐ』のたすきを引き継ぎました県立久慈病院の中村愛と申します。藤原さんとは以前宮古病院で一緒に働かせて頂き、検体部門を担当していた新人時代に大変お世話になりました。仕事も家庭も頑張る藤原さんですが、同じく頑張るお父さんとして知られている、アニメ「クレヨンしんちゃん」の父、野原ひろしの声優・藤原啓治さんの通っていた繫小学校(廃校)が、実は私の家から歩いてすぐ近くににあります。私自身は青森県三沢市で生まれ、幼少より父が転勤族であったため、青森市、三沢市、仙台市等引っ越しや転校を繰り返して、中学二年生の途中より父の実家のある岩手にやってきました。そして私の家は自然豊かな、豊過ぎる山の中にあるのですが、今回はそんな私の山の生活ぶりを簡単にご紹介したいと思います。市の街中から車で約 30 分、山形町という所に私は住んでいます。その中でも特に山深い繫という地区で、家のすぐ前を川が流れ、お隣と呼べる家は畑を挟んで遠くに小さく見える程の距離、もちろん歩いて行ける距離内にスーパーはおろかコンビニすらありません。通勤途中の山道では、タヌキ、アナグマ(タヌキと似ているが鼻がシュツとしている)、カモシカ、ウサギ、キツネ、リス、等様々な動物たちと遭遇します。警戒心が強く実際に遭遇するのはレアですが時に熊にも出会います。日々が天然のサファリパークです。

家の敷地内には鶏小屋があり、現在鶏が 14 匹程、天気の良い日は放し飼いにして近くを走り回り、父親が趣味で蜜蜂も何箱か飼っています。なぜか犬小屋より家の近くにあるので、犬の元に行くときは飛び交う蜂の群れの中をシュツとダッシュで潜り抜けねばなりません。蜂を飼う目的は、もちろんその蜂蜜を収穫することなのですが、毎年収穫量は安定しません。なぜなら毎年収穫を目前にして、熊によってなぎ倒され食べられてしまうからです。家の後ろの畑にはトウモロコシを植えていたのですが、毎年まともに収穫できません。なぜなら(以下同文)。夜中に爆竹を乱発(近所迷惑となるような近所に人はいない)するなど工夫してみるものの熊の来訪はやはり防げず、もはや熊のために作物や蜜蜂を育てているようにすら思えてきてしまいます。写真は家の裏で捕獲された熊です。



記憶に新しい恐怖体験は、ひと気のない山道で一人犬の散歩をしていたある日、珍しく車で通りがかった男性が(ちなみに普段車が通ることすら珍しく周りに民家も電波も無い)、すれ違い様に「今ダムに熊がいたからすぐに戻りなさい」と忠告を。折り返し地点としていたダムはそこから数十メートル・まさにはすぐ近くだったのでかさずUターン！物足りなさそうにする犬をよそに、もし背後から熊が唸りながら追いかけてきたら犬が戦ってくれている間に一目散に逃げよう、とか救急車が来るまで何分かかかるだろう、というか圏外だし、などなど色々考えている間に無事家にたどり着いていました。

なんだか熊のことばかりの内容になってしまいましたが、春には山菜、秋には松茸などの山の幸も楽しめます。松茸も美々ですが、独特の程よい苦みが日本酒によく合うクロカワというきのこも美味

(い わ て)

しいですよ。そんな山の生活を体験してみたい方がいましたら、是非一度遊びにいらしてください。
次回は岩手医科大学附属病院の佐藤彩佳さんに繋がりたいと思います。ではよろしくお願ひ致します



*****岩臨技からのお知らせ*****

平成 29 年度公益事業 ガン予防啓発活動

あっぴりレーマラソン大会 2017 参加募集



活 動： ガン予防啓発活動 「あっぴりレーマラソン 2017」

日 時： 平成 29 年 9 月 3 日 (日) 時間未定 (スタート 8:30 頃)

会 場： 安比高原スキー場 周辺

参加対象： 日本臨床衛生検査技師会会員または臨床検査技師を支持・支援していただける方。

募集人数： 走者 20 人 (予定数) 、走者以外 (ピラ配り等) 無制限です。

参 加 費： 走者 3,000 円 (傷害保険料、懇親会費込み)、走者以外 1,000 円 (懇親会費) ※

内容詳細： ・ 1 チーム 4 人以上 10 人以内、1 周 2km の周回コースを計 21 周プラス 195m、
タスキをリレーしてチームでフルマラソンを完走する。

制限時間は 4 時間 30 分。

申込み方法： 下記へのメールのみで受付いたします。

申し込み先 masac1104@yahoo.co.jp

申し込み期限：2017 年 7 月 7 日 (金)

問い合わせ先：公益財団法人いわてリハビリテーションセンター

臨床検査科 川村 将史 TEL 019-692-5805 (内線 950)

岩臨技登山同好会からのお知らせ

先日の総会で、会員の親睦を深めるために、登山を企画することとしました。初回ですので

(い わ て)

初心者コースにしました

【日時：8月11日】(金) 山の日、場所：雫石町三ツ石山

集合場所：9時、網張温泉国民休暇村駐車場。ここから登山口まで相乗りします

持ち物：上着、帽子、手袋、雨具、昼食、虫よけ、汗拭き用タオル、お風呂セット、
スポーツドリンク、おやつ、携帯電話など

服装：長袖で速乾性があり山登りに相応しいもの、登山靴が相応しいがウォーキング用でも可

*参加希望者は7月28日までに事務局か、胆沢病院の菊池までメールで連絡ください

その際、氏名・自宅住所・施設名・年齢・電話番号を添えてください(保険を掛けるため)

問い合わせ先：岩手県立胆沢病院

臨床検査技術科 菊池 英岳 TEL (内線 950)



*****研修会案内(岩臨技 HP よい)*****

平成 29 年度 日臨技北日本支部「臨床検査総合部門研修会」

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 北日本支部 実務担当技師会

：(一社)山形県臨床検査技師会

「現代の臨床検査室に求められるもの」

日 時 平成 29 年 9 月 9 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 30

会 場 山形市立病院済生館 4階 大会議室

受講料 会員 1,500 円 非会員 2,000 円 (会場にて徴収いたします)

生涯教育基礎 20 点

平成29年度岩臨技第1回一般検査部門研修会のご案内

講演 1 14 : 00~15 : 00 「認定一般検査技師認定試験を受験して」

講師：盛岡赤十字病院畠山和江技師

講演 2 15 : 15~16 : 15 「明日から使える！尿沈渣検査の基本知識」

講師：公益財団法人岩手県予防医学協会畠山秀樹技師

日時 平成29年7月15日(土) 14 : 00~(受付13 : 30~)

会場 岩手医科大学附属病院創立60周年記念館9階第1講義室

(い わ て)

会費 会員無料、非会員5,000円
生涯教育専門教科20点

*詳細につきましては、岩臨技HPでご確認下さい。



新入会員です(2016~2017新規入会分)

石黒 睦子		渡部 敦裕	岩手県立中部病院 臨床検査科
中村 華恵	医療法人社団松誠会 滝沢中央病院	斉田 実花	
遠藤 昂駿	独立行政法人国立病院機構 岩手病院	千葉 由美子	PCL 盛岡病理細胞診センター
田中 崇		米澤 智寿子	公益財団法人 岩手県予防医学協会
小川 七恵	PCL 盛岡病理細胞診センター	小坂加麻理	
村上 美月	岩手県立胆沢病院	遠藤 千寿子	(株)盛岡臨床検査センター
鈴木 亜紀	岩手県立中央病院 中央検査部	浅沼 和枝	特定医療法人 遠山病院
山野目 梢	公益財団法人 岩手県予防医学協会	八重樫 恵里	北上済生会病院
金澤 千絵	岩手県立大船渡病院	高橋 彩	岩手県立胆沢病院
津志田 真澄	社団医療法人啓愛会 宝陽病院	盛山 柚花	総合花巻病院
穴戸 美里	岩手県立中央病院 中央検査部	古川 諭	公益財団法人 岩手県対がん協会

(い わ て)

どうぞよろしくお願いたします。



～編集後記～

皆さんはじめまして。今年から会報担当となりました、社団医療法人西城病院の小野寺と申します。慣れない事ばかりですが、皆様のお力添えをいただきながら、やっていければと思っております。次号からよろしくお願いたします。

今月号まで担当して下さった向井千純さん・佐々木道子さん、お忙しい中の会報編集お疲れ様でした。

会報「いわて」第 313 号 2017. 06

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：安保 淳一

事 務 局：畠山 裕司

編集責任者：佐々木 道子

向井 千純

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111 内線 3746 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp